

2008 年度

科目名 <p style="text-align: center;">児童文化</p>	対象学科・学年 教育教福 2 回生	担当者 <p style="text-align: center;">長瀬 美子</p>
授業テーマ 子どものあそびと物語		
授業の概要と目標 地域からあそび場が消え、自然発生的なあそび仲間が消失していく中で、幼児のあそびを保障する場として、幼稚園や保育所が果たす役割はこれまで以上に重大になってきています。本講義は、幼稚園や保育所での保育内容について深く掘り下げて考え、子どもたちとダイナミックなあそびを創り出して楽しむことのできる力量の形成を目的としています。幼稚園や保育所で実際に読まれている絵本や紙芝居、行なわれているあそびなどを例にしながら、子どもの視点からその「おもしろさの秘密」に迫るとともに、保育者の工夫、しかけや援助などについて分析・考察します。		
評価方法 発表とレポートによって評価します。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 講義時に紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
第 1 回	オリエンテーション	本講義のねらいと進め方について
第 2 回	基礎的な知識について学ぶ (1)	児童文化としての絵本、紙芝居
第 3 回	基礎的な知識について学ぶ (2)	あそび研究の現在
第 4 回	} 作品研究	絵本・物語を検討し、その構造を分析する
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	実践に向けての準備	絵本の構造分析と実践構想
第 8 回	観察	読み聞かせをお子内、子どもの反応を記録する
第 9 回	反応分析 (1)	分析結果を発表する
第 10 回	反応分析 (2)	分析結果を発表する
第 11 回	} あそび研究 (2)	物語から生まれたあそびを分析する
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回	まとめ (1)	「子どもにとってあそびとは何か」について再考する
第 15 回	まとめ (2)	あそびを指導するとは